

# 平成22年教育委員会第8回定例会会議録

開会日時 平成22年8月10日 午前10時00分

閉会日時 同 上 午後 0時05分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 遠藤 勝男  
同職務代理 佐藤 昭  
委員 面田 博子  
委員 松本 實  
委員 秋本 則子  
教育長 山崎 喜久雄

## 議場出席委員

・教育次長	内山 利之	・教育振興担当部長	吉田 義仁
・庶務課長	駒井 正美	・教育計画推進担当課長	木佐森 茂
・施設課長	齋藤 登	・学務課長	土肥 直人
・指導室長	平沢 安正	・統括指導主事	江田 真朗
・地域教育課長	今關総一郎	・生涯学習課長	宮地 智弘
・生涯スポーツ課長	柴田 賢司	・中央図書館長	梅田 義郎

## 書 記

・企画係長 平井 大介

開会宣言 委員長 遠藤 勝男 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 遠藤 勝男 委員 佐藤 昭 委員 山崎 喜久雄  
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

○委員長 皆様、おはようございます。

○全員 おはようございます。

○委員長 ただいまより平成22年教育委員会第8回定例会を開会いたします。

議事に入る前にお諮りしたいことがございます。

まず、本日25名の傍聴の申し出がありました。葛飾区教育委員会傍聴規則第4条の規定により傍聴人の定員は10名となっておりますが、会場スペースを考慮し、抽選をした上、20名までの傍聴を許可したいと思います。ご異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 それでは、傍聴を許可することといたします。

事務局の方、傍聴人を呼んでください。

(傍聴人入室)

○委員長 それでは、委員長から傍聴人に申し上げます。

葛飾区教育委員会傍聴規則の規定によりまして、傍聴人は次の事項を守ってください。

一、傍聴人は、委員会の中で発言はできません。

一、傍聴人は静粛を旨とし、委員の言論に対して、拍手など賛否をあらわすようなことはおやめください。

一、傍聴人は、写真撮影、録画、録音を行わないでください。

なお、携帯電話の電源はお切りください。

一、傍聴人は、その他、会議の妨げとなるような行為はしないでください。

傍聴人は、規則に反する行為があった場合は退席していただくこととなりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、本日の議事日程に入ります。

議案第30号「平成23年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」を上程いたします。

ご説明をお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 議案第30号「平成23年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」、ご説明をいたします。

これまでお話をしてまいりましたように、今年度は新学習指導要領に基づき、平成23年度より使用する小学校教科用図書についての採択替えの年に当たります。教育委員会第7回定例会におきまして、小学校教科用図書検討委員会の報告をするとともに、教育委員の皆様方には教科用図書の調査研究をしてこられました。本日はよろしくご審議をお願いいたします。

また、中学校では、平成24年度から新たな教科用図書を使用するため、23年度は引き続き同一の教科用図書を使用することとなっております。それから、特別支援学級で使用する附則第9条教科用図書につきましては、前回の教育委員会でご報告したとおりでございますが、今回ご決定をいただきたいと思います。

ご審議のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長 ありがとうございます。

教育委員会第7回定例会で平成23年度使用小学校教科用図書についての検討委員会からの報告を受けました。また、第7回臨時会においては、平成23年度使用附則第9条教科用図書について検討経過の報告を受けております。本日、小学校の教科用図書については、各委員がこれまでに研究してきたことを踏まえまして、各教科・種目順に個別の採択審議とし、中学校教科用図書及び区立小・中学校特別支援学級で使用する附則第9条の教科用図書については、一覧表での採択審議といたしたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

まずは、平成23年度使用小学校教科用図書について審議を行います。

それでは、小学校・国語の審議に入りたいと思っております。ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、国語の目標は、「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる」とあります。特に、国語を尊重する態度を育てるという点からしますと、教育出版の教科書の題名が「ひろがる言葉」をメインにしておりまして、大変残念に思います。言うまでもなく、国語は国家を形成する人々が自国語として使用する言語でありまして、その教育を通じて、伝統や文化、情緒を含めて理解させ、継承していくものと考えております。学習指導要領の上でも、国語という教科の時間ですので、「言葉」ではなく、「国語」という題名をメインに使ってほしかったと思っております。

さて、本区では、葛飾区教育振興ビジョンに基づく教育を推進しておりますが、今回の教科書を選定するに当たり、私は全般的に、教育振興ビジョンに掲げている施策を推進する上で適している教科書はどれかという視点を踏まえて調査研究をいたしました。

国語の関連では、振興ビジョンの中で、言語活動の充実、読書活動の推進、漢字検定への挑戦が示されておりますので、これらを進めやすくするのはどれかということを考えてみました。

読書活動では、教材とは別に紹介している本の数ですが、三省堂が「図書館へいこう」という図書館の活用方法を示したページがあり、「読書の森で」や「わたしの本だな」で合計428冊とたくさんの本が紹介されています。光村図書は、「図書館の秘密を探ろう」で図書館の活用方法を示し、「この本、読もう」「本は友達」で合計364冊のさまざまな種類の本が紹介されています。学校図書は、「図書館で本を探そう」などで図書館の活用法、読書案内で本を紹介していま

すが、合計93冊とかなり少な目です。

漢字では、それぞれの会社が「漢字の広場」「漢字の部屋」「漢字を学ぼう」など工夫が凝らされてありました。

5社とも共通に扱っている4年生の「ごんぎつね」の題材ですが、1ページずつめくって挿絵や文字配列などを比べてみますと、つくり方がよいと感じたのは、学校図書、東京書籍、光村図書、三省堂、教育出版の順でした。

これ以外のことでよかった点を申し上げますと、東京書籍は写真がきれいで、「言葉の力のまとめ」で言葉の力を強調しています。学校図書は、6年の「だじゃれバトル」が個人的には好きで、これ以外にも言語活動が多く取り入れられ、巻末に「保護者のページ」が設けられています。三省堂は、2年生以上に、別冊『学びを広げる』があり、言語活動の学習として他の教科でも使えそうです。教育出版は、各単元の冒頭に学習の目的を示したページを設けています。光村図書は、いつもながら読む教材が充実していると思いました。

また、葛飾区では、平成6年から毎年、狂言教室を実施しておりますが、6年で狂言の内容を扱っているのは、三省堂、教育出版、光村図書の3社です。教科書の厚さ、ページ数では、三省堂、教育出版、東京書籍、学校図書、光村図書の順になっており、一番多い三省堂と一番少ない光村図書では約2割の差がありました。それぞれ特徴があつて大変迷わされる場所ですが、特に2年生以上から2分冊構成とした『学びを広げる』が言語能力の学習に効果的であると考えまして、私は三省堂を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 ページ数から言うと、一番多いのが三省堂で、6年間の合計で2,020ページ、一番少ないのが光村図書で1,650ページとなっています。その差は370ページとなっております。このページ数は、平均すると1年間のページ数に相当します。しかしながら、検討委員会の報告資料によりますと、領域区分の「話すこと」「聞くこと」の言語活動の単元数は、一番多いのは三省堂で、2番目が東京書籍、次が光村図書となっております。構成上の工夫、表記・表現上の工夫、巻末資料の量は、教育出版が多くなっています。ページ数は一番少ないのですが、内容的に充実していると感じたのは光村図書です。特に各単元の章末に学習で身につけさせたい力を整理したコラム「たいせつのコーナー」が大変よいと思いました。また、葛飾区では狂言教室が行われていますが、狂言の内容を扱っているのが三省堂、教育出版、光村図書です。

以上のことから、私は光村図書を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

○秋本委員 国語という教科に何を求められているのかということを観点として、また葛飾区

教育振興ビジョンに適しているかを重点に検討してまいりました。私は、光村図書と教育出版で迷いました。光村図書は発展的な内容で巻末の漢字学習が充実しております。繰り返し学習できるようになっておりました。しかし、現行の光村図書は、5・6年は2冊だったのですが、今回のものは1冊になり、厚く、重くなりました。三省堂も2年生から1冊になっております。子どもたちは毎日のように音読に取り組んでおり、厚く、重い教科書を毎日持ってくるのは大変だと考えます。教育出版は、6年間上下巻となっており、毎日繰り返し親の前で音読することを思うと使いやすいと考えます。小学校へ上がる前の子どもたちの文字学習の状況はさまざまありますが、1年生が初めて書く平仮名は、光村図書は「いちねん」から学習しますが、教育出版は「くつ」「つくし」「つり」「いし」などから学習します。易しく、わかりやすく、覚えやすく、具体的に文字に興味を持てるのは教育出版であると考えます。

教育出版の4年生では、「ぞろぞろ」「じゅげむ」という落語の教材があり、日本の伝統文化に触れるという工夫がなされております。また、学習内容のポイントや方法、進め方を明示しており、学力向上を図り、学習内容、国語の解説、ここがポイントなどで、教員にもわかりやすく教えやすいと思います。

以上のことから、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がございましたらお願いします。

面田委員。

○面田委員 私は次の3点について考えました。

1点目は、子どもたちの発達段階にどう対応しているのか。2点目は、ねらいや何を教えるのかが明確になっているか。そして3点目は、読書活動との関連はどうかという点からです。教育出版は、入門期の「なかよし」が9ページあり、あいさつ、返事から入り、言葉や文字の扱いが丁寧でした。6年生最後の教材の「先輩からの手紙」「二十一世紀に生きる君たちへ」は、中学校への進学を意識づけ、未来を目指す意識を高めるなど、考えを深める教材になっています。

2点目について、教育出版は、各単元が終わるごとに「学習のてびき」「ここが大事」の中で、学習活動や内容のポイント、用語の解説などが書かれており、この単元で身につける力が明確になっています。また、各単元の冒頭に「学習のとびら」を設け、学習の目的を明確にしました。

3点目の教育振興ビジョンにおける読書活動の充実との関連ですが、教育出版は1年の上巻から「学習のてびき」「本を読もう」において関連する図書を紹介してあります。また、巻末には推薦図書を多く掲載し、いろいろな分野の本との出会いがありました。光村図書では、巻末の付録「この本、読もう」においてさまざまな文書の本が紹介されておりました。

この3点以外にも、日本の伝統文化との関連においては、5社ともに昔話、神話、俳句、落

語、狂言、漢文、古文などを扱っており、日本語の美しさや豊かさを味わうことができると  
思います。教育出版は新聞に関する記述も充実しております。

以上のことから、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

松本委員。

○松本委員 5社のどの教科書も、学習指導要領の目標や内容を適切に踏まえており、それぞ  
れ工夫をしています。私は、葛飾区の「確かな学力の定着度調査」の実施結果を見て考察をい  
たしました。「読む力」において、5・6学年では、基礎学力の達成率が70%を下回っていま  
した。そこで、読むことの文種別作品などの数や内容の充実について検討し、光村図書と教育出  
版の2社に絞りました。本区の「確かな学力の定着度調査」における「書く力」については、  
4年生、6年生で70%を下回っていました。そこで、2社の書くことの言語活動別の単元数と  
内容について検討しました。そして、2分冊になっているほうが、教科書を持って読んだり、  
持ち運んだりする負担を軽減することになり、また、1年間の半ばで教科書が新しくかわる新  
鮮さは、児童の学習への興味・関心・意欲を高めると思います。さらに、葛飾区教育振興ビジ  
ョンに掲げている読書活動を推進する上で、教育出版は、1年生から本や図書館に慣れ、読書  
習慣を育てる内容を掲載しており、「学習のてびき」や巻末資料に図書を多く紹介していて、よ  
り適合していると考えます。

以上の点から、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長より申し上げます。

私は、小学校国語は、生涯にわたる読書の入門であると考えました。したがって、読む教材  
が多く、図書の紹介が充実してほしいと考えました。光村図書は、さまざまな文種の本が  
紹介されておりまして、読書の幅を広げやすいと考えました。また、情報処理能力という点に  
おいては、国語科では新聞の読み方、読み比べなどの指導が大切であると考えました。この点  
においても、光村図書は、新聞の読み方が丁寧に解説されておりまして、新聞を読み比べる  
活動も取り入れてありました。さらに、漢字の学習では、「かん字のひろば」や「カンジーはか  
せ」のページが配置されているなど充実していました。このような点から、私は光村図書を推  
薦いたします。

以上のように、いろいろとご意見が出ましたが、教育出版が3人、光村図書が2人、三省堂  
が1人となり、教育出版がよいとする意見が多数となりましたので、小学校・国語は教育出版  
を採択したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、小学校・国語は教育出版を採択することに決定  
いたします。

それでは、次に移りたいと思います。

小学校・書写の審議に入ります。ご意見がありましたらお願いいたします。

教育長。

○**教育長** 学習指導要領によりますと、書写に関する指導事項として、文字の組み立て方を理解し、形を整えて丁寧に書くこと、筆順に従って文字を正しく書くことなどがあります。また、実際の日常生活や学習活動に役立てることも大事な視点になります。今日、パソコンが普及する中で、文字を正しく覚えて書くことはますます重要になっています。また、日本語の文字の多様性や美しさを学ぶことも大切なことだと思います。学習活動に役立つものとしては、東京書籍は「文字の話」「生活に広げよう」、三省堂は「文字で伝える・文字で伝わる」「文字の由来」、教育出版は「書いて伝えよう」「知りたい文字の世界」、光村図書は「昔の文字、今の文字」「わくわく漢字教室」、日本文教出版は「文字の歴史を探ろう」「漢字で遊ぼう」などが活用できると思います。巻末にある漢字の書き順が、番号を振ってあるのではなく、分割で表示し見やすくなっているのは、日本文教出版と光村図書です。漢字の書き順や写真、挿絵、そして手紙、電話メモ、感想文、案内状など、さまざまな教材を紹介している点を考慮して、私は日本文教出版を推薦いたします。

○**委員長** ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

○**秋本委員** 教育出版は、書写の授業が国語の教科書と関連させて学習させることができると思います。また、書き順の色を変えたり、番号を振ったりしてわかりやすく示しております。さらに、3年生以上の毛筆では、穂先に朱墨をつけて書いているお手本が示されており、児童に筆づかいがわかりやすいように工夫されておりました。

以上の理由から、私は教育出版を推薦いたします。

○**委員長** ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

松本委員。

○**松本委員** 私は、次の5点から光村図書がよいと思いました。

1点目は、学習の流れと目当てが明確であること。2点目は、硬筆と毛筆のバランスがよく、毛筆で学習したことを硬筆に生かすように工夫されていること。3点目は、「学習したことを生活に生かそう」という言葉が多く見られること。4点目は、自己評価できるようになっていること。5点目は、用具の準備、片づけ、扱い方、書く姿勢などを丁寧に扱っていること。

以上のことから、私は光村図書を推薦いたします。

○**委員長** ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

面田委員。

○**面田委員** 私は、児童が興味を持って書写の授業に臨める工夫がされているか、学習したこ

とが生活に生かせるようになっていくかという点に視点を置きました。

まず、興味を持てるかという点ですが、東京書籍は目次が折り込みになっていて、そこに学年の初めに書いた文字と学年の終わりに書いた文字と比べられるようになっていきます。それを自分で見て、1年間の成長を感じられる工夫がされております。これは児童にとっては興味を持つところだなと思いました。また、表紙の裏側に「どうしたらいいのかな」というページを設け、文字の形やバランスをわざと崩して書いてありまして、それをきちんと書くためにどうしたらよいか、児童が主体的に考えて学習する工夫をしてありました。このことも、意欲的に学習に取り組めると思います。さらに、「できたよシール」というものがありまして、低学年に意欲を持たせるには効果的だと思いました。

次に、生活に生かすという点ですが、東京書籍はどの学年も「生活に広げよう」というページが最後のほうにありまして、手紙や記録を書いたり、新聞やパンフレットをつくったりする学習をします。6年生では、6年間のまとめとして作品をつくる学習をします。これらの学習は日常生活に役立つと考えました。それから、各学年とも付録が充実してありました。ここには、いろは歌、俳句、百人一首、竹取物語、論語など、伝統文化を推進する意味でもよいと思いました。また、1学年前の漢字も掲載されておりました。

以上のことから、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 書写は、ただ書くだけではなく、姿勢や落ちついた心といった精神的な面も重要だと考えます。そういう点では、基礎・基本を重視し、文字の形や筆順が大切に扱われている光村図書が一番よいと考えます。また、発展的内容も各学年で大変きめ細かく工夫されております。そして、巻末に自己評価の欄があるのもよいと思います。

このことから、私は光村図書を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長より申し上げます。

我が国では、ICT機器が飛躍的に進歩しており、文字をコンピュータなどのICT機器で処理する時代になりつつあります。このような中、文字を書くことがますます重要になってくるのではないかと思います。文字は人柄をあらわすと言いますが、文字の一つ一つがその人の人柄をあらわします。年賀状や手紙をもらうと相手の人柄がうかがえます。本格的な情報化社会を迎え、文字を敬遠しがちな時代になりつつありますが、光村図書は児童が文字を書くことが楽しいと感じる教材が多いと思います。

このような点から、私は光村図書を推薦いたします。

以上のように、いろいろとご意見が出されましたが、光村図書が3人、東京書籍、教育出版、日本文教出版がそれぞれ1人となり、光村図書がよいとする意見が多数となりましたので、小



学校・書写は光村図書を採択したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことでありますので、小学校・書写は光村図書を採択することに決定いたします。

それでは、次に移りたいと思います。

小学校・社会の審議に入ります。ご意見がありましたらお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、社会の目標は、「社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」とあります。日本や世界を広く知るとともに、地域を愛する心の醸成につなげられればよいと考えています。特に歴史はいろいろと注目されている分野ですが、我が国をいたずらにおとしめるような自虐的表現があるかどうかの一つのポイントだと思います。

秀吉の朝鮮出兵では、「大軍を送った」「兵を送った」「大軍で攻め込んだ」という比較的穏やかな表現を各社ともしているのですが、一方、これを「侵略」と表現している会社もありました。南京事件では、「多くの人々の命を奪いました」「中国の人々に大きな被害と苦しみを与えた」といったような能動体の表現と、「多くの中国人が殺害されました」と受動体の表現がありました。

聖徳太子は、私たちの世代からすればお札の代名詞であり、大変ありがたみを感じます。聖徳太子の絵では、紙幣に印刷されたものと同じ肖像画を使用した会社が多いのですが、余りなじみのない像の写真を使っている会社もありました。

また、権利と義務の単元の表現では、権利を強調し過ぎるのではなく、国民としての義務もバランスよく記述することが大事ですが、東京書籍の表現が最も適切であると思いました。

また、東京書籍は、屏風画や絵巻の写真を多用し、伝統文化を意識し、しかもインパクトがあり、記述の面でも内容が詳しく書かれており、充実しているように思いました。

教科書のサイズは、東京書籍、教育出版、日本文教出版『小学社会』がA B判、他の2社がB 5判となっていますが、テレビもワイド画面が主流になり、大きくて見やすくなったように、教科書もA B判のほうが写真や絵などを大きく見せることができ、見栄えがするようになっています。

以上のような理由から、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

面田委員。

○面田委員 社会についてどういう視点で調べたかと申しますと、社会の学習の仕方がわかっ

て身につくような構成になっているかということ。もう一つは、社会を学習する上で特に必要な技能とか知識があると思いますが、そういったものを子どもたちにどのように身につけさせるかという視点で調べました。

まず、問題解決型の勉強についてどうなっているかということです。教育出版は、単元の中に「？」マークがありまして、学習課題をそこに設定いたします。1番が「つかむ」、2番が「調べる・考える」、3番目が「まとめる・表現する」の3ステップで教科書を使って学習するやり方を示してありましたので、児童に、社会の問題解決学習を理解させ、身につけさせることができるのではないかと思います。

それから、社会を学習する際に必要な技能とか知識を習得するという点ですが、例えば3・4年上巻では、インタビューの仕方、電話のかけ方、手紙の送り方、インターネットでの調べ方、デジタルカメラの使い方、メモのとり方、ノートの使い方、発表の仕方など、社会を学習していく上で必要な技能や知識がとても充実していると思いました。そして、5・6年の巻末に索引がありまして、これも社会を学習していく上で必要な知識や技能の中に入ると思うのですが、復習や家庭学習にも使えるような学ぶ言葉や人物名が出ておりまして、非常によいと思いました。それから、イラストの子どもの吹き出しにどういうことを調べるのかという視点が書かれていました。このことは、先ほどもお話ししました問題解決学習にも関係するのですが、わかりやすいと思います。また、戦争についての記述の中に、葛飾・水元に初めての空襲があり、犠牲者が出たことが紹介されていたり、葛飾区議会ホームページや災害発生情報掲示ライトの写真があったり、このことは身近な地域の事例なので非常に興味関心を持たせることができるなと思いました。

そのような点から、私は教育出版を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 葛飾区教育振興ビジョンとの整合性という意味では、郷土や国を愛する心を身につけるということが重要になってくると思います。我が国の国土と歴史に対する理解や愛情をはぐくんでいかななくてはならないと考えています。

各社の教科書を比較してみますと、教育出版は、世界の中の我が国の位置づけ、また、国家社会の発展に大きな働きをした先人たちが一番多く取り上げられています。また、教育出版の「学びのてびき」「やってみよう」「確かめ考える」が、具体的な学習の仕方、作業手順、そして知識理解事項などについて丁寧に解説されています。また、節水や節電などの環境対策についても取り上げられています。そのような点から、私は教育出版を推薦します。

○委員長 そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

○**秋本委員** 社会は、身近な家庭生活から学習に取り組めること、葛飾区教育振興ビジョンとのかかわりや関連が深く求められることを観点として検討いたしました。

教育出版には、葛飾区に関することが掲載されております。例えば6年上巻には水元の教育資料館、6年下巻には区議会のホームページの写真とウェルピアかつしかの非常用ライトの写真が掲載されております。子どもたちは、身近な例があると興味を持って学習に取り組め、そして、郷土愛の育成にもつながると感じました。また、学習を進める上でのポイントを「学びのてびき」で詳しく紹介していることや、6年上巻の索引には歴史上の人物に人物マークがつけられていて、子どもにとってほかの用語と区別しやすく覚えやすいなど、多くの工夫が見られました。

以上のことから、私は教育出版を推薦いたします。

○**委員長** そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

松本委員。

○**松本委員** 本区が実施している「確かな学力の定着度調査」の学習意識調査に教科の好き嫌いの調査があり、その結果を見ると、「社会科が好き」と答えた児童の割合が大変低い状況にあります。そこで私は、児童が興味関心を持って学習に取り組めるよう工夫されているかという視点で調査いたしました。

教育出版は、「学びのてびき」を設定し、資料の読み取り方、ノートへのまとめ方等、学習の仕方について設定してあり、主体的な学習をうながす工夫がしてあります。また、単元の中心資料となる絵や写真がとても大きく掲示されていて、いろいろな事象を読み取りやすくなっています。5年上巻には、「町工場の技術が世界へ」があり、中小工場の工夫や努力を扱っています。中小の町工場の多い本区の実態に合っていて、興味関心を引くと思えました。「地域に残る戦争遺跡」のところでは、本区の水元教育資料館が、またほかにも2点の区内の写真が掲載されていて、児童の興味関心を高めると思います。6年上巻では、中単元の最初のページ右端に、これから学習する時代がどの時代に位置しているか、帯年表を掲載してあり、年表の活用を促し、意欲を引き出せるよう工夫されていると思います。

以上の点から、私は教育出版を推薦いたします。

○**委員長** それでは、委員長より申し上げます。

社会科は、申すまでもなく、社会事象その他さまざまなことについて勉強するわけですが、同時に、歴史についても勉強するわけでございます。歴史とともに、現代のさまざまな問題、しかもその問題が非常に錯綜してなかなか理解しがたいことが多々あるわけです。そうした現代社会の問題に対してどれだけリアルタイムで問題を分析し解決をしていくかということが大きな課題になっているわけですが、その社会事象の中で、特に環境問題についての取組が重要であると思います。教育出版は、環境問題に関する記述が極めてすぐれているように思

います。

そこで、私は教育出版を推薦いたします。

以上のように、いろいろとご意見が出されましたが、教育出版が5人、東京書籍が1人となり、教育出版がよいとする意見が多数となりましたので、小学校・社会は教育出版を採択したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○委員長** 異議なしとのことですので、小学校・社会は教育出版を採択することと決定いたします。

それでは、次に移りたいと思います。

小学校・地図の審議に入ります。ご意見がありましたらお願いいたします。

教育長。

**○教育長** 学習指導要領で示されていますように、地図は、地域の地理的環境や我が国の国土の様子を理解し、社会的事象の意味や働きを考えるなど、社会科の学習だけではなく、ほかの教科でも活用することができる重要な教科用図書であります。したがって、地図は、見やすさ、使いやすさが一番重要なポイントになると思います。

両社の地図をページごとにめくって比較していきますと、色合いは東京書籍が淡く、帝国書院のほうは山地の茶色が濃く、立体的に見えます。帝国書院は、東北地方など地方ごとに分けて掲載していますが、東京書籍は主要な都道府県を中心に大きく表示するようにしており、地方ごとの掲載になっておりません。また、帝国書院は見開きページで日本全図が一目で見られるようになっています。巻末の資料では、帝国書院が自然の様子、日本の歴史、産業の様子の資料統計が充実しているように思いました。葛飾区の地名では、帝国書院は巻末の索引に記載されていますが、東京書籍は索引に載っていません。葛飾区を愛する1人としましてはちょっと残念でした。

このようなことから、私は帝国書院を推薦いたします。

**○委員長** ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

松本委員。

**○松本委員** 私は、使いやすさ、見やすさを視点に検討いたしました。

帝国書院は、日本全土が示された数種類の地図があり、我が国の全体像がつかめます。また、地方別に全都道府県が掲載されていて、47都道府県の名称や位置を学習させやすいと思います。また、地図の約束ごとが整理されていて、字が鮮明で、児童が親しみを持って地図学習に取り組めること、鳥瞰図や航空写真の数が多く、宇宙から眺めた日本列島が掲載されていて、自国について関心を高めることができます。世界の国別統計資料や都道府県別の統計資料では、帝国書院のほう新しいと思います。そして、州ごとの世界地図の中で日本の位置や大きさを比

較できるよう工夫されていて、興味や関心を高めることができます。

以上の点から、私は帝国書院を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

○秋本委員 帝国書院は、航空写真が多く使われているため、児童の関心が高いのではないかと思います。また、葛飾区の位置がわかりやすく、興味関心が持てることや、地図が見やすくなっています。

そのような点から、私は帝国書院を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 帝国書院は、地図はもちろんのこと、地図帳の使い方、記号などわかりやすく仕上がっていると思います。そのほか、自然や産業の様子を初め、いろいろな統計まできめ細かく取り上げられており、統計などの年度も新しく、よくまとまっていると思います。また、巻末の地球温暖化の問題など、写真や絵を使い丁寧に仕上げられています。

以上の点から、私は帝国書院を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

面田委員。

○面田委員 地図帳を活用する知識や能力を育てることが大事であると考えて検討しました。

帝国書院は、写真、グラフ、表などの統計資料が豊富であることや、地図帳の約束事や使い方も示されており、地図帳の活用の仕方を身につけるのに適当であります。また、47都道府県の名称と位置について、学習の仕方や覚え方が記されています。そして、「世界の国をクローズアップ」というコーナーでは、日本とのつながりの深い国について調べるテーマが出ておりますので、それはよいことだと思いました。

以上の理由から、私は帝国書院を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長より申し上げます。

申すまでもなく、地図の命と言えば、見やすさと同時に統計資料があるのではないかと思います。一番新しい資料であればよいわけですが、作成上なかなかそうはいかない場合もあります。それでも比較して新しい資料であることは大事な点ではないかと思います。そういう意味におきましては、帝国書院は資料統計の作成年度が比較的新しいことから、私は帝国書院を推薦いたします。

以上のように、全員が帝国書院を推薦しておりますので、小学校・地図は帝国書院を採択したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、小学校・地図は帝国書院を採択することと決定いたします。

それでは、次にまいりたいと思います。

小学校・算数の審議に入ります。ご意見がございましたらお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、算数の目標は「算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる」とあります。特に算数嫌いの子どもが増えていると言われる今日、算数的活動の楽しさを感じられるように、身近な生活と算数を関連づけるような工夫をしていくことが大切であります。そして、算数は積み重ねを最も重視する教科ですから、基礎の定着と発展学習がしやすいことも大切な視点であると考えています。

東京書籍は、巻末の補充問題、「おもしろ問題にチャレンジ！」で習熟度別指導に活用でき、「算数のお話」「算数おもしろ旅行」で興味関心を引くようにしています。

大日本図書は、「基本のたしかめ」で振り返りができ、「生活のなかの算数」「わくわく算数」「もっと算数」で興味関心を引くようにしています。

教育出版は、「ステップアップ算数」で習熟度指導ができるようになっており、「算数ワールド」「学びの手引き」で興味関心を引くようにしています。

啓林館は、「たしかめ道場」で基礎的問題、「学びをいかそう」で発展的問題が掲載されており、「学びをいかそう」「算数のまど」で興味関心を引くようにしています。

日本文教出版は、「たしかめポイント」で振り返り、「選んでトライ！」で発展を單元ごとに載せてあり、「なるほど算数」で興味関心を引き、「いち・に・算数」で生活に活用できるように工夫されています。

それぞれの会社で工夫がなされていますが、日本文教出版が算数的活動を取り上げている箇所が多数あり、全体の構成もうまくできていると思えました。また、日本文教出版は、A B判とサイズが大きく、写真も多く使っていて、色づかいもすっきりしており、見栄えがよいのも特徴の一つであります。

そのようなことから、私は日本文教出版を推薦いたします。

○委員長 そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

面田委員。

○面田委員 1点目は、学校現場にいたときにも感じていましたが、子どもたちは1年生のとき、「算数はおもしろい」、あるいは「好きだ」と言います。しかし、中学年、高学年になると算数嫌いになってしまいます。それは、理解が不十分なまま次の単元に進んでしまうことがあ

るからです。特に一斉指導の場合はそのような傾向が強いと思います。

そこで、算数嫌いにならないような教科書はないかという視点で検討をしました。具体的には、個に応じた問題が掲載されているか、学ぶ楽しさを味わえる内容か、あるいは実生活で活用されていることがわかる内容かという視点です。2点目は、学習の仕方が身につけられる構成になっているかという視点です。3点目は、PISA型の問題を解く力や読み込む力をつける内容も配慮されているかという視点です。具体的には、啓林館の目次の「算数のとびら」で、「教科書の使い方」「学習の進め方」が記載されています。「学習の進め方」は、問題解決型の学習方法により、子どもが見通しを持って学習できるように記載されています。また、全員が一律に学習する内容と発展的な内容が区別されています。これは、少人数指導で扱いやすい構成です。巻末の「算数のまど」では、「学びをいかそう」「もっと練習」が掲載されています。さらに発展内容として、「もっと学びをいかそう」があり、児童の興味関心に合わせた、個に応じた問題の指導ができます。単元の中に、「よみとる算数」も設置され、PISA型の読解力や情報選択能力を育成できます。単元に入る前の「準備運動」は、つまずきを早期発見し、対応できそうです。また、1学年でお金に関する問題が掲載されています。数的感覚を磨き、見積もる力を育成できます。このように、実生活と密着している単元もあることから、私は啓林館を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたら。

佐藤委員。

○佐藤委員 算数は、基礎基本の積み重ねで始まり、応用に発展していく教科とされています。また、一度つまずくと次の段階で大変苦勞する教科でもあります。そして、出来不出来もはっきりと分かれる教科でもあります。そのことから、習熟度別、あるいは少人数といったクラス分けをするのだと思います。

各教科書の内容を見ますと、特に啓林館は問題数も多く、量的にも一番充実しているように思います。しかし、算数の得意な子どもや好きな子どもには適切だと思いますが、そうでない子どもたちにとって適切かという、やや疑問に思います。葛飾区の児童の学力調査において、特に算数では、高学年ほど学力が低くなっています。

この点を含めまして、私は「算数のお話」「算数おもしろ旅行」など、比較的児童の興味や関心を高める工夫がされている東京書籍を推薦いたします。

○委員長 そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

○秋本委員 本区の教育振興ビジョンでは家庭学習に力を入れています。東京書籍は、わからない箇所など、例えば「おぼえているかな」の復習ページや、巻末に補充問題、おもしろ問題が掲載されています。これにより、家庭学習や習熟度別の学習を進め、個に応じた指導ができ

るようになっていきます。また、わからなくなったときに、戻るページが教科書の右端に記載されており、学年の発達段階に応じた無理のない配列になっており、基礎学力の定着に効果的であると思います。

そのようなことから、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

松本委員。

○松本委員 算数は、基礎基本の積み重ねが大事であり、習熟度に差が出る教科であると言えます。そのことを踏まえて、まず、本区で行っている少人数指導や習熟度別学習を取り組む上で使いやすいかどうかを検討しました。啓林館は、既習事項とのつながりが目次で明記しており、各単元に入る前に「準備運動」という項目を設置して、既習事項を確実に理解しているかを確認して新しい単元に入れるようになっていきます。つまずいている児童にも振り返り学習ができると思います。理解の早い児童に対しては、巻末に「算数のまど」を設け、カラーで示してあります。課題の提示と、児童がみずから取り組めるように構成してありますので、活用ができます。

また、本区で行っている「確かな学力の定着度調査」の結果で、課題である数学的な見方・考え方の力をつけるため、啓林館の「考えを広めよう、深めよう」が活用できると思います。さらに、本区では、新規採用者を初め、経験の浅い教員が多い状況があります。啓林館では、「教科書の使い方」と「学習の進め方」という個人の学習方法が掲載してあり、問題解決学習を指導しやすい構成になっています。

以上の理由から、私は啓林館を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長より申し上げます。

算数は、わかるとおもしろく、楽しい教科であると思います。最初、1年生では順調に進むことと思いますが、一度つまずいてしまうと途端に算数嫌いになってしまう傾向があります。そこで、つまずいたときにどうするかという役割が教科書に託された使命の一つであると思います。また、算数は、自主学習に取り組みやすい教科であると思います。東京書籍は、章末に「しあげのもんだい」が掲載され、自分でつまずいた箇所を確認できます。右端には、どこを見ればわかるのかのページが記載され、自主学習に取り組みやすく構成されています。

このような点から、私は東京書籍を推薦したいと思います。

以上のように、いろいろとご意見が出されましたが、東京書籍が3人、啓林館が2人、日本文教出版が1人となり、東京書籍がよいとする意見が多数となりましたので、小学校・算数は東京書籍を採択したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、小学校・算数は東京書籍を採択することと決定



いたします。

それでは、次にまいりたいと思います。

小学校・理科の審議に入ります。ご意見がありましたらお願いいたします。

教育長。

**○教育長** 学習指導要領によりますと、理科の目標は、「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う」とあります。

理科の教科書をめくっていきますと、写真などがとてもきれいに編集されており、いまさらながらに新しい発見、新しい感動があつて、目がはたと止まったりしました。もう一度子どもの昔に返って勉強したくなるようなすばらしい教科書ばかりです。児童に理科の興味関心を持たせ、さらに物理、生物、天文など、特定分野にのめり込んでいくような学習につながればよいと思います。

東京書籍は、「理科のひろば」で知識を広げ、「生活に広げよう」や「わたしの研究」で発展的学習に対応しています。大日本図書は、「ふりかえろう」「学んだことを生かそう」「ジャンプ」で習得、活用、発展に対応しており、「自由研究」や「理科の玉手箱」で興味関心を引くように工夫しています。学校図書は、単元ごとの「やってみよう」や「読み物」で発展的学習ができるようにしています。教育出版は、「科学の窓」で読み物資料、「私の研究」で自主学習ができるようになっています。啓林館は、「学習をまとめよう」で単元ごとの整理を、「自由研究」で学習の広がり、「理科から仕事へ」でキャリア教育につながるように工夫されています。

教科書のサイズは、A B判が東京書籍、大日本図書、学校図書の3社、B 5判が教育出版、啓林館の2社ですが、両方のサイズを見比べますと、サイズの大きい方は写真などに迫力感が出ていますが、B 5判のほうはどうしても見劣ってしまいます。特に大日本図書は写真がダイナミックできれいであり、デザイン性にすぐれており、実感を伴った理解ができるように思いました。

このようなことから、私は大日本図書を推薦いたします。

**○委員長** ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

**○秋本委員** 大日本図書は、主な実験器具や方法のほかに、「別の実験器具」というコーナーがあり、実験や観察に幅ができて意欲的な学習につながると考えます。児童の理科離れを防ぎ、理科に対する興味関心を持たせる工夫があり、問題、予想、計画、結果、考察の一貫した学習のサイクルがはっきりと意識できるよう構成してあります。写真の資料が鮮明できれいです。

以上の点から、私は大日本図書を推薦いたします。

**○委員長** ほかにご意見がありましたらお願いします。

松本委員。

○松本委員 私は次の視点で検討いたしました。

第1に、学習指導要領の目標の中にある「自然の事物・現象について実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養う」をより反映しているかという視点です。大日本図書は、学習過程が、問題・観察・実験・まとめ・発展の配列に系統性があり、児童にも指導者にもわかりやすい内容となっております。また、「ふりかえろう」のコーナーで今までの学習や体験、記憶を呼び起こし、実感を伴った理解をさせる工夫があります。さらに、都教委の調査結果によると、観察実験の数とものづくりの種類数が多くあります。

第2に、理科の指導が苦手な教師にとって、指導しやすい工夫がしてあるかという視点で検討いたしました。大日本図書は、薬品や器具の基本的な扱い方や動物や植物の扱い方、実験の注意などを詳しく説明してあります。また、観察、実験が数多く示されているので、選んで指導することができます。

第3に、理科が苦手な児童にとっても興味関心を高め、わかりやすい記述になっていて、児童が使いやすいかという視点で調査いたしました。大日本図書は、4年生以上を分冊にして、重さの負担を軽減しているため、児童が持ち運びしやすいと考えます。また、写真、図表、挿絵が大きく、はっきりしていてわかりやすいので、児童の関心・意欲を高めると思います。そして、区内の小学校の農園での観察のことが掲載されており、児童が地域の身近な内容が盛り込まれていることにより親しみを持ち、意欲的に学習に取り組めると考えます。

以上のことから、私は大日本図書を推薦いたします。

○委員長 そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 理科は、学年が上がるにつれて内容が難しくなってきますが、東京書籍は、年齢に合わせた進みぐあいで、構成、系統性もよいと思います。また、1年1冊という分け方になっていて、例えば2学期、3学期に、1学期に学習したことをすぐに見返すことができるので、上下巻に分けるよりもよいのではないかと考えました。そして、6学年の巻末の「とび出る人体模型」は、大変よいアイデアだと思います。体の中のつくりを立体的に見ることができ、よりわかりやすくなっております。また、自分でつくることにより、写真や絵で見るだけよりもより一層理解も増すのではないかと考えます。

東京書籍で一つだけ残念なことは、火山列島である日本の地形で各社とも雲仙普賢岳の写真が載っておりますが、火砕流が海まで届くか届かないかのところで写真が切れていることです。

以上、それぞれの社に工夫が見られますが、総合的に見まして私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

面田委員。

○**面田委員** 私は、問題解決の能力を育てることができるか、科学的な見方や考え方を養うのにふさわしいか、また、環境教育の充実という点ではどのように扱われているかという視点で見えてまいりました。

東京書籍は、環境教育に関して、環境にかかわる内容にマークがついていて、指導しやすいと思いました。また、科学的な見方や考え方を養うという観点では、観察・実験の結果とまとめというように分けて示してありました。結果をもとに考察する場面で、「整理しよう」「考えよう」「発表しよう」と設けています。これは、科学的な見方や考え方を養う上で適切であると考えました。また、巻末に、実験器具の扱い方と安全対策が十分に載せてあり、活用できると思いました。

以上のことから、私は東京書籍を推薦いたします。

○**委員長** それでは、委員長より申し上げます。

本来、子どもたちは、理科と言わずとも、虫とか、葉っぱとか、天候とか、そういう自然のことに興味があり、関心が強いものだと思います。しかも、それは教室だけでなく、自然全体ですから、家庭でもどこへ行っても題材は限りなくあるものだと思います。そういうことを念頭に置いて編集している教科書、自主的でしかも、家庭を初め、どこでも勉強できるような、そういうことを助けていけそうな教科書を選びたいと考えました。

教育出版は、巻末の「発展コーナー」で発展的な学習の取組が期待でき、また、主体的な学習という観点でも、自主学習に有効な資料があります。そこで私は教育出版を推薦いたします。

以上のように、いろいろとご意見が出されましたが、大日本図書が3人、東京書籍が2人、教育出版が1人となり、大日本図書がよいとする意見が多数となりましたので、小学校・理科は大日本図書を採択したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** 異議なしとのことですので、小学校・理科は大日本図書を採択することと決定いたします。

それでは、次にまいりたいと思います。

小学校・生活の審議に入ります。ご意見がありましたらお願いいたします。

教育長。

○**教育長** 学習指導要領によりますと、生活の目標は、「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養う」とあります。教科書のサイズはA4判が学校図書、A5判が東京書籍、大日本図書、光村図書の3社、B5判が教育出版、啓林館、日本文教出版の3社となっています。低学年の児童

に対する視覚的な面からしますと、サイズの大きいほうが写真やイラストにインパクトがあってよいと思います。

大判サイズ3社の教科書の作り方としては、東京書籍が巻末に「ぐんぐんノート」があり、振り返り学習ができ、イラストが優しい感じです。大日本図書は、巻末の「学習の道具箱」が役に立ちそうですし、写真を多用していてインパクトがあります。学校図書は、「ものしりノート」や巻末の「あんぜんのぺえじ」がよくできており、写真に臨場感があり、イラストがやわらかで優しい感じがします。光村図書は、単元の中が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」と段階的に学習できるようになっており、イラストや写真も大きく扱われています。生活科と教育振興ビジョンとの関係では、あいさつ運動や読書活動がありますが、その辺がどのように記述されているかを比較してみますと、家族や地域の身近な人に対するあいさつでは東京書籍が一番多く扱っており、1年生の最初のところがあいさつから始まっています。読書活動の面では、公共施設の図書館の活用方法など、東京書籍が充実していると思いました。

そのようなところから、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 そのほかご意見がございましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 学校図書の上巻では、学校、友人、遊びと入り、植物の育て方、動物の飼育の仕方、家族について触れられています。また、下巻では、町の様子、交通、標識、おもちゃづくり、野菜づくりと収穫、生き物の世話まで触れられています。「わたし大すき」コーナーでは、自分の昔を振り返ることによって、自分の成長を知るとともに、今まで世話になった家族、先生、友人に感謝をする心を育てることができます。構成では、生活の仕方や遊びにおいても、都市と村では違いますが、町の様子など、葛飾区に合っていると考えます。上下巻を通して絵や写真をたくさん取り入れ、大きなものは大胆に配置されています。巻末の春夏秋冬の「いきものずかん」の写真はきれいで、整然とまとめられています。交通安全のページもわかりやすくまとめられています。

以上の点から、私は学校図書を推薦いたします。

○委員長 そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

○秋本委員 学校図書は、学習指導要領の目標、内容が適切にわかりやすく盛り込まれていると考えます。また、身近な人々、社会、自然とかかわる場面が数多く設定されておりました。葛飾区教育振興ビジョンにある「家庭学習の充実」に対応できる活動として、「家の仕事調べ」や「できるようになったことの実践」が取り入れられ、子どもたちにとってわかりやすくまとめられています。さらに、イラストは楽しい表情のものが多く、親しみやすくできています。

このようなことから、私は学校図書を推薦いたします。

○委員長 そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

面田委員。

○面田委員 生活科は、自立への基礎を養う教科であるため、活動がたくさん行われますが、活動をしただけで終わりになりがちです。この活動でどんな力を身につけさせるのか、はっきりさせることが大切であると考えます。そして、自立への基礎のためにどういう構成になっているのか、そのような点を調べました。

学校図書は、大単元構成を取り入れ、1・2年生の上巻・下巻において、いずれも五つの大単元の構成になっています。活動の内容ごとに単元が構成されているので、活動のねらいをはっきりさせて、見通しを持って活動計画を立てることができるようになっていました。裏表紙に、それぞれの単元の活動を通して身につく力を保護者にわかるように「学習のねらい」として記述しています。教師にとっても、単元のねらいを確認しながら授業ができます。

大単元が終わると、「チャレンジずかん」「むかしあそびにちょうせん」「町の季節ずかん」「ものしりノート」「せかいのあそびにちょうせんしょう」など、活動を発展させ、充実させる資料があります。また、巻末の「いきものずかん」「あんぜんのページ」「学びかたずかん」など、実際の体験活動で役に立つ資料になると思います。

以上のことから、私は学校図書を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

松本委員。

○松本委員 学校図書は、単元ごとにページが色分けされており、紙面がすっきりしていて、写真や字が大きくて、低学年の児童にとって見やすく、児童の興味関心を喚起し、使いやすくなっています。また、見出しが児童の言葉で書かれており、見やすく、ねらいが明確になり、活動意欲を引き出す工夫があります。

巻末の資料では、「いきものずかん」「学びかたずかん」「あんぜんのぺえじ」が工夫されており、実際の活動に役立てることができ、本区の児童の実態に合わせて活用できます。そして、葛西臨海水族館や千葉市動物公園など、葛飾の児童が遠足などで比較的利用することの多い場所が掲載されており、身近に感じることができます。

以上の点から、私は学校図書を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長より申し上げます。

生活科は、文字どおり、毎日生活をしているそのものを勉強しているため、身近な題材があることが大切であると考えます。そして、身近な題材を学習するからこそ、物事を客観的に見つめる必要があり、自分自身を評価することを教科書に手伝ってほしいと願っています。それを満たしているものが学校図書であると考えます。また、学校図書は、教育振興ビジョンにある家庭学習に対応できる内容として、「家の仕事調べ」や「できるようになったことへの実践」

が盛り込まれている点がよいと思いました。

したがいまして、私は学校図書を推薦いたします。

以上のように、いろいろとご意見が出されましたが、学校図書が5人、東京書籍が1人となり、学校図書がよいとする意見が多数となりましたので、小学校・生活は学校図書を採択したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○委員長** 異議なしと認め、小学校・生活は学校図書を採択することに決定いたします。

それでは、次にまいりたいと思います。

小学校・音楽の審議に入ります。ご意見をお願いいたします。

教育長。

**○教育長** 学習指導要領によりますと、音楽の目標は、「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」とあります。

私は三つの視点から検討しました。

まず、日本の伝統音楽の取り上げ方ですが、東京書籍は、「日本のいろいろな地方の音楽」で、童歌、民謡を取り上げています。教育出版は、「お祭りや民ようめぐり」「伝えよう日本の音楽」などで、日本のお祭りを四季別に豊富な写真で掲載しています。教育芸術社は、「音楽が支える日本の心」「詩と音楽を味わおう」で各学年で取り上げています。

次に、教育振興ビジョンでも力を入れている楽器の演奏については、教育芸術社が鍵盤ハーモニカ、リコーダーの運指など、指導しやすく工夫されています。つくり方としては、教育出版と教育芸術社がA B判のサイズで見えが大変よく、中でも教育出版の共通教材が4ページにわたり掲載されており、写真がとてもきれいでした。

次に、平成18年12月に、文化庁が発表した「親子で歌いごう日本の歌百選」に入っている曲がどれくらいあるかを調べました。二世代、三世代で一緒に歌える歌がたくさんあるということは、世代間コミュニケーションを活発化する上でも大切なことだと考えています。1年から6年までの共通教材は24曲ありますが、そのうち、「日本の歌百選」に入っている曲は15曲もあります。この共通教材以外で「日本の歌百選」の曲を多く取り上げているのは、教育芸術社が24曲、東京書籍が22曲でした。

また、教科書のサイズは、A B判が教育出版と教育芸術社、B 5判が東京書籍ですが、音楽もA B判のほうが見栄えがします。

このような点を考えて、私は教育芸術社を推薦いたします。

**○委員長** そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

○**秋本委員** 教育出版は、表現、鑑賞に力を入れていると思いました。5年生において「オーケストラと合唱のひびきを楽しもう」を載せているので、葛飾区小学校音楽鑑賞教室と関連づけて学習できると思います。日本の伝統的な歌について、3年生の「茶つみ」、4年生の「さくらさくら」、5年生の「こいのぼり」など、写真がきれいでダイナミックでした。難しい用語の説明についても詳しく記述されていました。

以上のことから、私は教育出版を推薦いたします。

○**委員長** そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

松本委員。

○**松本委員** 教育芸術社と教育出版は、両者ともに、リコーダーの運指や鍵盤ハーモニカの鍵盤について大きな写真や絵で解説していてわかりやすくなっていました。写真や楽譜が大きくて見やすく、発展的な学習にはマークをつけて、活動や調べる内容が示されていました。国際理解教育についても、日本の音楽を発達段階に応じて扱っており、世界の音楽も扱っていました。

教育芸術社は、各題材が、色分けしてページわきに帯としてまとまって表記されていて、活動の構成が指導者や児童にわかりやすく、使いやすいものでした。題材のねらい、学習活動、学習のヒントが児童の立場に立って話し言葉で表記されていて、わかりやすく、意欲を高めていると思います。巻末に、著名人のインタビューの記事があり、児童の音楽に対する興味関心を高めるよう工夫がされていました。また、共通教材が「こころのうた」として統一されていて、はっきりとわかり、「日本の歌百選」の歌が多く載っております。

以上の点から、私は教育芸術社を推薦いたします。

○**委員長** そのほかにご意見がありましたらお願いいたします。

面田委員。

○**面田委員** 私は、情操教育と言われている音楽科ですので、音楽に対する感性、音楽活動の基礎的な能力を養うためにどのような教科書がふさわしいかと考えました。教育出版では、「おぼろ月夜」や「こいのぼり」、「さくらさくら」などの共通教材を大きく4ページで扱い、写真がダイナミックで美しく感じました。また、巻末に自然の歌、情景の歌として、日本の季節の歌がまとめて記載してある点も、情操教育を図る上でふさわしいと考えました。

教育芸術社では、発達に合わせて、物語と音楽を結びつけ、楽しめる単元が全学年にありました。情操教育、感性を育てるにはふさわしいと考えます。また、日本の作曲家である山田耕筰、宮城道雄、滝廉太郎や、モーツァルト、バッハ、ベートーベンについて調べるなど、発展的な内容が豊富でした。巻末には、「みんなでたのしく」があり、行事や音楽会などで扱える教材になっています。ステップアップでは、各分野で活躍する著名人、アナウンサーや声優、元プロ野球の選手などの音楽に対する思いが書かれており、児童の音楽への興味を高めることが

できると思います。

そのような点から、私は教育芸術社を推薦いたします。

○委員長 そのほかにご意見がありましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 私には、心に残る歌として「ふるさと」、詩がきれいな「おぼろ月夜」があります。どちらも共通教材となっておりますが、教育芸術社は共通教材が心の歌として統一されていて、はっきりとわかるようになっておりました。さらに、「ふるさと」や「おぼろ月夜」の歌碑の紹介や歌のイメージに合った美しい写真も掲載されており、学習活動とリンクさせて、知識を広げ、知的関心、興味を深めることができると思いました。

また、楽器の演奏においては、1年生の鍵盤ハーモニカの写真が実物大であるなど、鍵盤ハーモニカ、リコーダーなどそれぞれの分野で学年に応じて段階的に学習できるような系統性を持たせておりました。

このような点から、私は教育芸術社を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長より申し上げます。

私は、音楽は楽しく、心豊かになるものと考えます。また、音楽は、自分自身が音楽を演奏し、行事や音楽会に発展していくものと考えます。したがって、行事や音楽会に適した教材が掲載されているという点を考えますと、先ほども面田委員からありましたとおり、教育芸術社では各学年の巻末には「みんなでたのしく」のページが設けてあり、歌唱、器楽の教材として、行事や音楽会などで扱える教材が多数取り上げられておりました。また、3年の木管楽器、4年の金管楽器、5年の弦楽器、6年の日本の楽器など、巻末に鑑賞資料として楽器が大きく美しくレイアウトされておりました。

以上の理由から、私は教育芸術社を推薦いたします。

以上のように、いろいろとご意見が出されましたが、教育芸術社が5人、教育出版が1人となり、教育芸術社がよいとする意見が多数となりましたので、小学校・音楽は教育芸術社を採択したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことでありますので、小学校・音楽は教育芸術社を採択することと決定いたします。

次にまいりたいと思います。

小学校・図画工作の審議に入ります。ご意見をお願いいたします。

教育長。

○教育長 学習指導要領によりますと、図画工作の目標は、「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的



な能力を培い、豊かな情操を養う」とあります。

図画工作で創造活動の意欲をわかせるためには、よい作品をしっかりと児童に鑑賞させ、感動を与えること、物をつくり出すことに興味を持たせ、楽しさを味わえるようにすることが大事です。また、我が国の伝統文化をきちんと紹介し、日本の芸術のすばらしさを理解させることも大切な視点だと考えます。

東京書籍は、「日本の美にふれて」など一貫した形で日本の伝統文化の作品を紹介していますが、総ページ数が少ないせいか、作品数が少ないようです。開隆堂出版は、日本の祭りや昔からのおもちゃなどで伝承玩具や伝統文化を紹介しており、特に鑑賞教材の写真が大きくて見やすくなっています。日本文教出版は、「ぞうけいずかん」や「形や色を楽しもう」で民芸品や日本の美を紹介しています。高学年の鑑賞する美術作品は数多く掲載されていますが、A4判サイズの割には扱いがやや小さくなっている気がいたします。日本の代表的な美術品である「風雷神神図屏風」の写真を比較しますと、開隆堂出版の写真が一番大きくてインパクトがあります。

このようなことから、私は開隆堂出版を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

面田委員。

○面田委員 図画工作は、情操教育の場であると同時に、造形する喜びを味わえる教科であると考えます。伝統文化に関しましては、各社とも郷土玩具、伝統工芸、世界遺産などを取り上げていてよいと思いました。

日本文教出版の表紙は、児童の作品が使用されております。また、表紙の裏は、児童の活動している写真が用いられております。この写真は、児童の造形する喜びにつながると思いました。内容については、題材名の上に、その単元で身につけさせたい力、目当てが表記されております。このように、育てる力が明確に記されているので、指導する側にとっても役立つと考えました。また、巻末には、「ぞうけいずかん」や「使ってみよう材料と用具」というページが設けられており、指導するのに有効であると考えました。5・6年の巻末にある「インターネットを活用するために」は、具体的で、他教科や家庭でも参考になると思います。先ほど述べた造形する喜びを味わえることにつながりますが、制作した作品を地域の店に飾ってもらおうという単元があります。このことを通して、地域社会の中でコミュニケーションの育成にも役立てることができます。さらに、造形遊びをする活動では、発達段階に合わせて、砂、土、紙、テープ、布、木などを使って豊かなイメージを持って自由に表現する喜びを味わえるようになっていると思いました。

以上のことから、私は日本文教出版を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 東京書籍は、高学年になり、町や社会、自分の身の回りなど、いろいろな発見があり、また、日本独特の春夏秋冬という四季の変化を通して色合いなどがわかりやすく仕上がっています。また、「未来に向かって」は、今までの自分を見詰めるとともに、これからの自分を想像したりするのによく仕上がっています。「発見、私だけのすてきな場所」では、作品をつくとともに、どのような場所でできるか、また、場所によって見方の変わり方など、発想が大変おもしろいと思います。ポスターやカレンダーなどは、文字を絵のようにしたり、逆に、絵を文字にしたり、文字や言葉の形を楽しみながら伝えるようになっているのがよいと思いました。項目の最初にある「めあて」は、目的がわかって大変よいと思います。また、巻末の「みんなの美術館」「チャレンジ資料館」「みんなの道具箱」は、挑戦意欲をそそるように工夫され、大変よくできています。

よって、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 ほかにございましたらお願いいたします。

松本委員。

○松本委員 私は、次にあげる視点から比較しました。

1点目の視点は、児童の立場に立って興味関心を引き出し、やる気にさせる内容になっているかという点です。開隆堂出版は、児童の目線や感覚で教材名が表記してあり、想像力をかき立てるような題材がたくさん紹介されています。特に造形遊びの作品例については、児童の表情や作品が明るくて、やってみようという気にさせ、実用性があると考えます。

2点目の視点は、葛飾区の児童や指導者の実態に合っていて使いやすいかという視点です。開隆堂出版は、葛飾区のどの学校でも指導できる教材、題材を扱っており、道具や材料の説明、安全への要点などがわかりやすく示してあるので、経験豊富な教員から経験の浅い指導者まで使いやすいと考えます。また、2学年ずつ、上下巻に扱われており、児童が持ち運びしやすい分量になっています。

以上の点から、私は開隆堂出版を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

○秋本委員 どの教科書も色がきれいで工夫されておりました。開隆堂出版の巻末の「道具箱」「パレットコーナー」では、基礎基本の知識や技能を発達段階に合わせて系統的に取り上げ、道具の使い方、安全性について扱い、児童の安全面に配慮しておりました。また、児童が理解しやすい写真が多く、想像力を膨らませる題材も多く掲載されていました。

そのようなことから、私は開隆堂出版を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長より申し上げます。

図画工作には発達段階があり、前の段階を踏まえ、より新しいものや斬新なものを描いていく、つくっていくという系統性があると考えます。発達段階に合わせて系統性を踏まえ、以前の経験が生きてくるような教材を取り上げていけば、子どもたちの意欲と創造性を引き出すことができると考えます。開隆堂出版の低学年では、幼児期に経験してきたことを多く取り入れております。

このような点から、私は開隆堂出版を推薦いたします。

以上のように、いろいろとご意見が出されましたが、開隆堂出版が4人、東京書籍・日本文教出版がそれぞれ1人となり、開隆堂出版がよいとする意見が多数となりましたので、小学校・図画工作は開隆堂出版を採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○委員長** 異議なしとのことでありますので、小学校・図画工作は開隆堂出版を採択することに決定いたします。

それでは、次にまいりたいと思います。

小学校・家庭の審議に入ります。ご意見をお願いいたします。

教育長。

**○教育長** 学習指導要領によりますと、家庭の目標は、「衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身につけるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる」とあります。

日本の伝統文化について東京書籍は、「日本茶のいろいろ」や「昔の涼しく感じる工夫」を取り上げており、開隆堂出版は「ふろしき」「手ぬぐい」「日本の伝統的な保存食」などを取り上げています。また、家庭生活では、東京書籍は「見つめよう家庭生活」で家族の一員としての記述があり、開隆堂出版は「家族とほっとタイム」で家族と過ごす時間をつくることや朝の生活の工夫を、「考えようこれからの生活」で感謝の気持ちを伝えるなど、家庭生活重視が貫かれています。また、環境教育では、東京書籍が環境チェックで取り上げており、開隆堂出版は「トライ！エコ生活」で環境を考えたエコライフを取り上げています。発展学習については、東京書籍は、「自由研究例」「トライカード」で実践させる工夫がなされており、開隆堂出版は、「チャレンジコーナー」で制作、作業手順が細かく丁寧に書かれています。特に家庭生活重視、環境教育重視の点からしますと、開隆堂出版のほうがすぐれているように思います。したがって、私は開隆堂出版を推薦いたします。

**○委員長** ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

**○秋本委員** 東京書籍は、家庭科の授業で学んだことを実生活、各家庭で生かすことが大事で

あるという視点で作成されています。また、教育振興ビジョンに示された「早寝・早起き、朝ごはん」の奨励に関連づけられた学習内容が取り入れられています。巻頭に記載されている食育チェックや環境チェックでは、質問をイエス・ノーの形式で矢印の方向に答えながら進めていくことで、学習するポイントや全体的な概要を楽しみながら把握することができます。これに対して、巻末には、「これまでの学習を振り返ろう」というコーナーがあります。2年間で学習した項目を一つひとつ確認しながら、できる自分、頼もしい自分、自立した自分と成長していく過程を振り返り、将来の自分を目指して進んでいくイラストが記載されています。

以上のように、実生活で生かす内容のほか、環境に関する内容も扱っている点、家庭生活の中で児童の学習意欲を引き出す点から、東京書籍がよいと思いました。

以上のことから、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 そのほかご意見がございましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 ページ数及び分量については、各社ともほとんど変わりありませんでした。

内容については、日常生活をしていくためのいろいろな知識を習得し、活用していく上で、開隆堂出版がよくまとまっているように思います。「チャレンジコーナー」など主体的に取り組めるようになっており、写真、図なども多く取り上げられていて、2年間を通じて、目的や内容についてもわかりやすく作られております。巻頭の「家庭科を学びましょう」から、巻末の「成長したわたしたち」など、小学校から中学校に向かっての生活の自立性を求めているのもよいと思います。

以上のことから、私は開隆堂出版を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がございましたらお願いいたします。

面田委員。

○面田委員 検討の視点としましては、体験を通して、日常生活に必要な基礎・基本的な技術を身につけることと、家庭生活や家族を大切にする心情をはぐくむことに重点を置きました。

東京書籍は、目次に、5年生のテーマ「できる自分になっていこう」と6年生のテーマ「工夫して頼もしい自分になっていこう」が記載されています。2年間で学ぶ学習の流れが図示され、学習方法がよくわかります。目次の下のほうには、この教科書で学ぶ基礎技能が19項目挙げてあり、児童が確かめられるような工夫があります。各単元の初めに「学習のめあて」が一覧表になっています。また、単元の終わりの「ふり返ろう」のコーナーでは、学習後の評価ができます。授業ごとの「学習のめあて」もページ上部欄外に明記してあり、児童が主体的に学ぶことができます。巻頭の「食育チェック」と「環境チェック」は、2年間の自分の生活や行動の振り返りと成長に役立つだけでなく、系統的な食の学習展開へとつながるように工夫されています。実技教科に大切な安全、衛生に関する事項が多く取り上げられています。家庭生活

の単元は29ページと多く、充実しています。自分から、家族、そして地域の人へと広げていく学習の過程は自然な心情を育てることができます。掲載されている写真はどれも明るい表情で、家庭生活や家族を大切にしている心情をはぐくむのにふさわしいと思います。

以上の点から、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がございましたらお願いいたします。

松本委員。

○松本委員 私は次のような点から調査いたしました。

まず、実体験が少なくなっている児童に対し、いかに家庭科学習に意欲を持たせる工夫がされているかという点です。これについて東京書籍は、写真や図が大きく鮮明で、説明文がわかりやすく、書き込む欄が大きくて書きやすくなっております。

次に、本区の推進する教育振興ビジョンに関連して使いやすい点はないかという視点で調査いたしました。これにつきましても、東京書籍は、「食育チェック」、「環境チェック」など、本区の推進する教育振興ビジョンで、食育、環境教育の実践のチェックが意識づけに活用できると考えました。また、「早寝・早起き、朝ごはん」の奨励に関連づけられる学習内容が、5年、6年ともに取り入れられており、活用できると思いました。

以上の点から、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長より申し上げます。

本区、私たちが掲げております教育振興ビジョンを後押ししてくれる箇所はないかという視点で検討しました。また、学習内容が家庭生活そのものでありますので、毎日の生活の中でたくさんの教材が横たわっております。そういう一つひとつのことを自分のこととしてチェックしていく、あるいは観察していく、あるいは実践していく、そのようなことを支援してくれる教科書を選びたいと考えます。

東京書籍には、教育ビジョンの「早寝・早起き、朝ごはん」の奨励に関連する内容が5・6年生で掲載されております。また、目次では、19項目にわたり、児童が家庭の基礎技能を確かめるようになっております。また、食育や環境チェックが見開きで設けられているところがすぐれていると思います。

このような点から、私は東京書籍を推薦いたします。

以上のように、いろいろとご意見が出されましたが、東京書籍が4人、開隆堂出版が2人となり、東京書籍がよいとする意見が多数となりましたので、小学校・家庭は東京書籍を採択したいと思います。異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、小学校・家庭は東京書籍を採択することに決定いたします。

それでは、次にまいりたいと思います。

小学校・保健の審議に入ります。ご意見をお願いいたします。

教育長。

○**教育長** 学習指導要領によりますと、体育の目標は、「心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる」とあります。

少し前に、行き過ぎた性教育が他の自治体の学校で行われ、問題になったことがありました。教えるべき内容はきちんと教えなければなりません、子どもの発達段階を考慮することが最も大事だと思います。小学生の発達段階を考えますと、思春期の体の変化の学習については、できるだけ穏やかな表現がふさわしいと考えています。学研教育みらいは、男女とも裸のイラストがなく、5社の中では最も穏やかな表現になっています。また、発展の記述、「新しい命」については、なかなかよい内容であると思いました。全体の教科書のつくり方としては、東京書籍、文教社、光文書院はかなり詳しく記述がされていますが、やや細かいという感じがしないでもなく、大日本図書と学研教育みらいは割とすっきりまとまっているように感じました。

以上のような点から、私は学研教育みらいを推薦いたします。

○**委員長** そのほかにご意見がありましたらお願いいたします。

松本委員。

○**松本委員** どの教科書も学習内容を十分満たしておりますが、小学校の保健学習では、3・4年生で学習する思春期の体の変化と5・6年生で学習する「喫煙」・「飲酒」・「薬物乱用」が重要な内容であると考え、特にこの内容について比較検討しました。

小学生の発達段階を考えますと、学研教育みらいは、思春期の体の変化の絵や表記がやわらかな表現であり、資料をもとに科学的にわかりやすく表記されております。5・6年生で学習する「喫煙」・「飲酒」・「薬物乱用」につきましても、資料と説明の文章の配分がよく、内容にも説得力がありました。また、全体を通してイラストや写真、文字の配分がすっきりしていて、分量もコンパクトにまとまっております。さらに、表紙裏の写真と問いかけが、健康について、「病気や体に不自由なところがあっても生き生きと生活していること」と広義に考えさせている点が大変よいと思いました。

以上のことから、私は学研教育みらいを推薦いたします。

○**委員長** そのほかご意見がありましたらお願いいたします。

秋本委員。

○**秋本委員** 身体の発達状況や段階は、児童によりさまざまです。成長する時期が早い、遅いで悩む児童もいると思います。大日本図書の「思春期の体の変化」の学習では、グラフやイラ

ストを用いて保健室の先生や児童の吹き出しなどでやわらかく親しみやすい表情で丁寧に書いてありました。「おとなの体になるじゅんぴ」では、服を着た男女のイラストで書かれておりますので、行き過ぎた性教育の視点から考えても適切であると考えました。また、保健室の先生の吹き出しで、大人の体の変化についてわかりやすく説明してありました。喫煙防止、薬物乱用防止に関する学習では、身体に与える悪い影響について写真を用いてわかりやすく書かれてありました。また、たばこや薬物を勧められたときの断り方を考えていく欄を設けておりました。このことで、自分の気持ちを表現する力も身につくのではないかと考えました。

以上のことから、私は大日本図書を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がございましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 東京書籍の内容は、社会の一員としてのひとり立ちのための必要な事項が要領よくまとめられておりました。特に生活習慣病については、事例も多く、幅広く取り上げられておりました。喫煙、飲酒、薬物の害と健康についても重要かつ不可欠であり、バランスよく取り上げられております。また、健やかな体の育成、心の健康については、けがの防止、病気の予防と例を挙げ、丁寧につくられ、質・量ともにほどよいと思いました。さらに、「広げよう」「学習をふり返ろう」のコーナーでは、復習するという観点からよくできていると思います。

以上のことから、私は東京書籍を推薦いたします。

○委員長 ほかにご意見がありましたらお願いいたします。

面田委員。

○面田委員 保健は、心と体を一体ととらえて指導すること、健康安全に関する基礎的な内容を重視することが大切と考えます。

学研教育みらいは、学習したことを生活や行動に結びつけるための課題が記述できること、学習課題を自分の問題として実感し、取り組むことができるよう、作文や事例を多く取り入れるなど工夫が見られました。また、「思春期の体の変化」では、発達段階を考慮したイラストを用いており、行き過ぎた性教育の視点から考えて、裸のイラストを使用していないことも適切であると考えました。喫煙防止、薬物乱用防止に関する学習では科学的な資料が使用されており、説得力があると思いました。

以上のことから、私は学研教育みらいを推薦いたします。

○委員長 それでは、委員長より申し上げます。

保健といいますと、私は、心と体は一体、あるいは相互関係にあるものと考えております。そういう意味で、保健は身体の問題だけでなく心の問題を重視して扱っているものがよいと考えております。学研教育みらいは、心の教育について充実しており、自己肯定感をはぐくむ学習内容が取り入れられております。それから、表紙の裏の写真と問いかけが、健康について、

病気や体に不自由なところがあっても生き生きと生活しているという広義に考えているところに共感をいたしました。

このような点から、私は学研教育みらいを推薦いたします。

以上のように、いろいろとご意見が出されましたが、学研教育みらいが4人、東京書籍・大日本図書がそれぞれ1人となり、学研教育みらいがよいとする意見が多数となりましたので、小学校・保健は学研教育みらいを採択したいと思いますが、異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○委員長** 異議なしとのことですので、小学校・保健は学研教育みらいを採択することと決定いたします。

以上で、11種目の平成23年度使用小学校教科用図書が採択されました。

ここで、各教科の種目順に採択する発行者名を確認いたします。

指導室長、お願いいたします。

**○指導室長** それでは、採択発行者を確認させていただきたいと思います。

国語・教育出版、書写・光村図書出版、社会・教育出版、地図・帝国書院、算数・東京書籍、理科・大日本図書、生活・学校図書、音楽・教育芸術社、図画工作・開隆堂出版、家庭・東京書籍、保健・学研教育みらい、以上でございます。

**○委員長** ありがとうございます。

以上のとおりであります。採択理由一覧表については、これまでの審議を踏まえ、事務局におきまして作成することよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

**○委員長** 異議なしとのことですので、事務局において作成をお願いいたします。

以上で、平成23年度使用小学校教科用図書の採択審議を終了いたします。

続きまして、平成23年度使用中学校教科用図書の審議に入ります。

中学校教科用図書につきましては、昨年度に採択替えが行われ、平成24年度に新学習指導要領により新しい教科用図書が作成されるまでの間、同一の教科書を採択することとなっております。そこで、別紙「平成23年度使用教科用図書検定教科書採択一覧表(中学校用)」のとおり採択することになりますが、ご意見がありましたらお願いいたします。

松本委員。

**○松本委員** 中学校では、別紙の一覧表の教科書を使って授業を行い、十分に活用されていると聞いております。したがって、引き続き、一覧表にある教科用図書を採択することよろしいと考えます。

**○委員長** ほかにご意見ありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)



○委員長 ないようでありますので、お諮りをいたします。

別紙「平成23年度使用教科用図書検定教科書採択一覧表（中学校用）」につきましては、一覧表に記載されている図書を採択することに異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長 異議なしとのことですので、この一覧表のとおり、平成23年度使用教科用図書検定教科書（中学校用）を採択することに決定いたしました。

次に、平成23年度使用附則第9条教科用図書の採択の審議に入ります。

平成23年度使用教科用図書特別支援学級一覧表（小学校用）及び平成23年度使用教科用図書特別支援学級一覧表（中学校用）について、ご意見はございませんか。

面田委員。

○面田委員 附則第9条教科用図書は、前回の教育委員会での報告でも確認いたしましたが、小学校及び中学校の特別支援学級において各学校が調査研究し、校長が責任を持って報告したものであると認識しています。児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容のものでありますので、これでよろしいと思います。

○委員長 ほかにご意見ございませんでしょうか。

（「なし」の声あり）

○委員長 それでは、お諮りいたします。

平成23年度使用教科用図書特別支援学級（小学校用）及び平成23年度使用教科用図書特別支援学級（中学校用）につきましては、一覧表に記載されている図書を採択することに異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長 異議なしとのことですので、この一覧表のとおり、平成23年度使用教科用図書特別支援学級（小学校用）及び平成23年度使用教科用図書特別支援学級（中学校用）を採択することと決定いたしました。

以上で、平成23年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択につきましてはすべての審議が終了いたしました。

今回の議案にかかわる審議につきましては、別紙のとおり、教科用図書の採択に関する検討委員会の報告書、会議録などは、公正確保の観点から、東京都教育委員会に報告する8月31日まで時限秘としたいと思います。

ただし、採択結果につきましては、区民の関心も高いことから、教育委員会終了後、公表一覧が作成され次第公表したいと思います。異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長 異議なしとのことですので、事務局においてはよろしくお願いたします。

また、ご出席の皆様におかれましても、この点をご承知おきいただき、ご配慮くださいますようお願いいたします。

指導室長。

○指導室長 ただいまの決定によりまして、まずは本日の採択結果につきましては、採択結果を取りまとめて一覧表にしたものを即日公表させていただきます。また、教科用図書公表文書一覧表でございます文書につきましては、東京都教育委員会へ報告後、また、事務処理が終了いたしましたところで、9月1日以降、教育委員会事務局及び区政情報コーナーにおいて公表したいと考えております。なお、教育委員会の会議録につきましては多少時間をいただきたいと思っておりますので、ご了承いただければと思います。

以上です。

○委員長 ありがとうございます。

ただいま指導室長から本日の採択結果以外の文書の公表につきまして説明がございました。この取り扱いでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、よろしく願いをいたします。

ここで、教育委員の皆さんよりご発言がありましたら、どうぞよろしく願いいたします。

面田委員。

○面田委員 一つよろしいでしょうか。

そろそろ臨海学校が終わったころなのではないのかなと思うのですがけれども、子どもたちの様子など何かありましたら、聞かせてください。

○委員長 指導室長。

○指導室長 おかげさまで、夏季休業日からスタートいたしました岩井臨海学校でございますけれども、先週末、8月7日をもちまして無事終了することができました。ことしはやはり異常な暑さということで、早い時期から随分クラゲが出たということを知っております。また、小さなけがはありましたけれども、大きなけがもなく、無事戻ってこられたということで、移動についてのトラブルも今回はなく進めることができました。実行委員長さんから今後報告をいただくことになっておりますけれども、現時点では無事に終了というふうに把握してございます。

以上です。

○面田委員 よかったです。ありがとうございました。

○委員長 ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 それでは、次に移りたいと思います。

本日は、報告事項等はございません。

「その他」につきまして、庶務課長、お願いいたします。

**○庶務課長** 「その他」でございます。

まず、1点目の「配付資料」でございます。「9月行事予定表」、それから「プラネタリウム番組のご案内（第76号）」、この2点の資料をお手元にお配りしてございます。

それから、2の「出席依頼」でございます。今回はございません。

それから、次回の教育委員会の予定でございます。9月7日火曜日午前10時から教育委員会室でございます。よろしくお願いいたします。

以上でございます。

**○委員長** それでは、以上をもちまして、平成22年教育委員会第8回定例会をすべて閉会いたします。ご協力大変ありがとうございました。

閉会時刻0時05分